取扱説明書

角形ガス七輪（G７）取扱説明書

形名　G7

- このたびは焼き物器　G7 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前に この取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解したうえでご使用ください。
- お読みになった後は なくさない様保管して下さい。

もくじ

株式会社　中部コーポレーション

安全上のご注意

○ ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ 正しくお使い下い。
○ ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。

● ガス漏れに気づいたときは すぐに機器の使用をやめ、ガス栓を閉じ、窓や戸を開放し、ガスを外に出し、販売者またはガス供給者に連絡し、全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しないこと。 炎や火花で引火し、爆発事故の原因になります。

● 本体に貼ってある銘板のガス種以外では使用しないこと。
異常燃焼で火災、火傷や一酸化炭素中毒の原因になったり、機器が故障することがあります。不明な場合は、販売者またはガス事業者に連絡してください。

● 引越しや移設をされたときは、供給ガスの種類と機器銘板のガス種が一致していることを、必ず確かめてください。

● 可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶、ガソリン、ベンジン、接着剤、石油缶など）のものを機器の上やまわりに置いたり、使用したりしないこと。
焦げたり燃えたりして火災の原因になります。

● 棚の下など、落下物の危険のあるところに設置しないこと。
機器の上に落ちたものが燃えて、機器が破損したり、火災の原因になります。

● 機器を設置した後、機器の周辺の改造をしないこと。
設置基準上問題となる場合があり、不完全燃焼や火災の原因になります。

● 水槽に水が入っていない状態で使用しないこと。
火災の原因になります。

● 絶対に分解したり改造はしないこと。
異常動作したり故障の原因になります。

● 使用時には換気扇を回し、必ず換気すること。
換気しないと室内の空気が汚れて不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります。

- 地震、火災など緊急時や、使用中に異常な燃焼、臭気、音等ふだんと違った状態になったとき、不都合が生じたときには、ただちに使用を中止すること。
  火災、火傷、一酸化炭素中毒の原因になります。

- 強い風の吹き込むところや屋外に設置しないこと。
  性能が十分に発揮できなかったり、炎が消えたり、風にあおられて周囲のものの過熱の原因になることがあります。

- 安定性の良い丈夫で水平なところに設置すること。
  不安定で傾いたところに設置すると、機器の落下や異常加熱などによって、ケガや火傷の原因になることがあります。

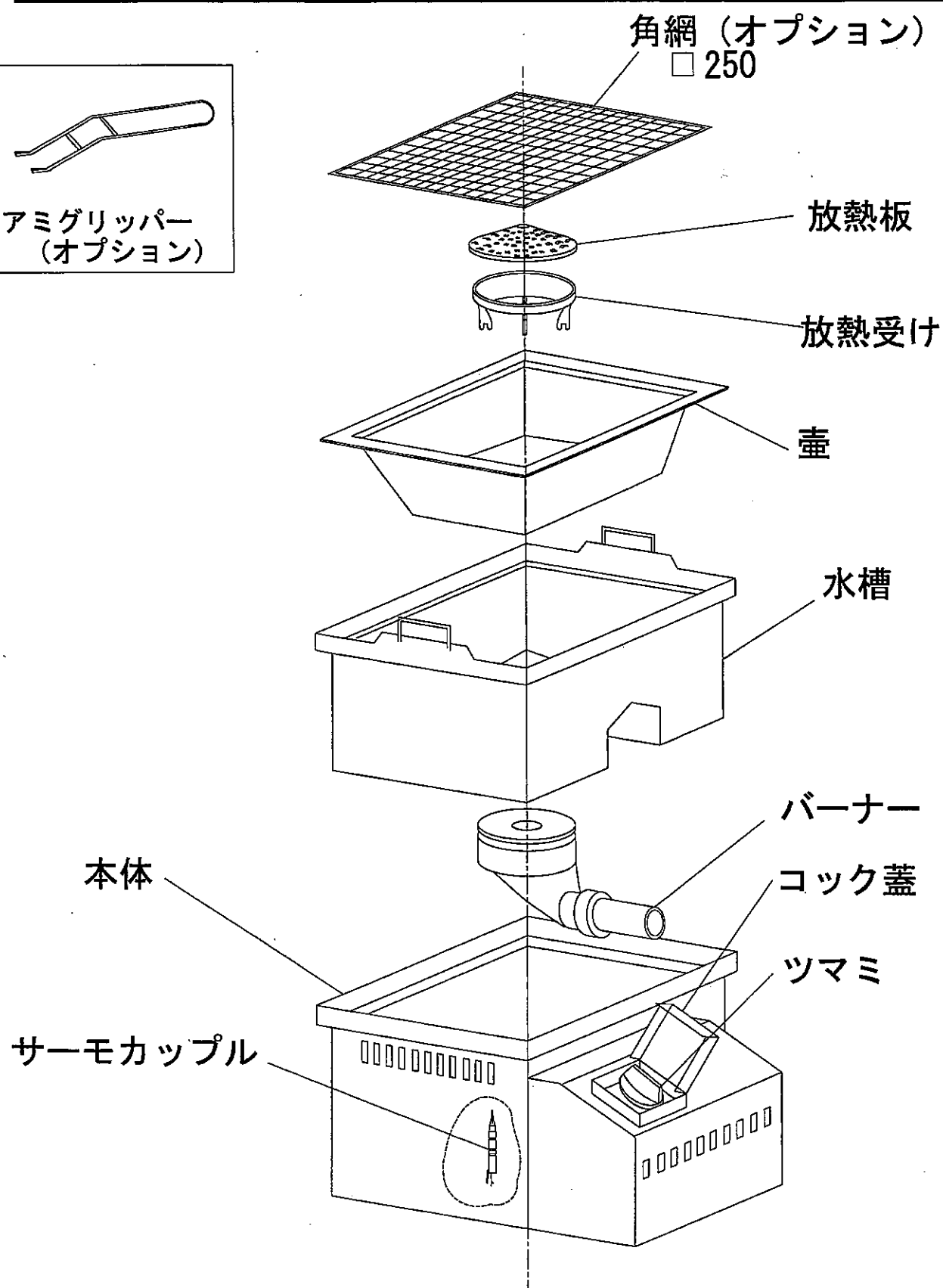
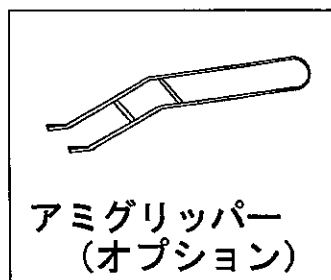
- 点火のときや使用中はバーナー付近に顔を近付けすぎないこと。
  火傷の原因になります。

- 使用中および使用直後は、網や機器本体と、その周辺が熱くなっているので、操作部以外は触らないこと。
  火傷の原因になります。

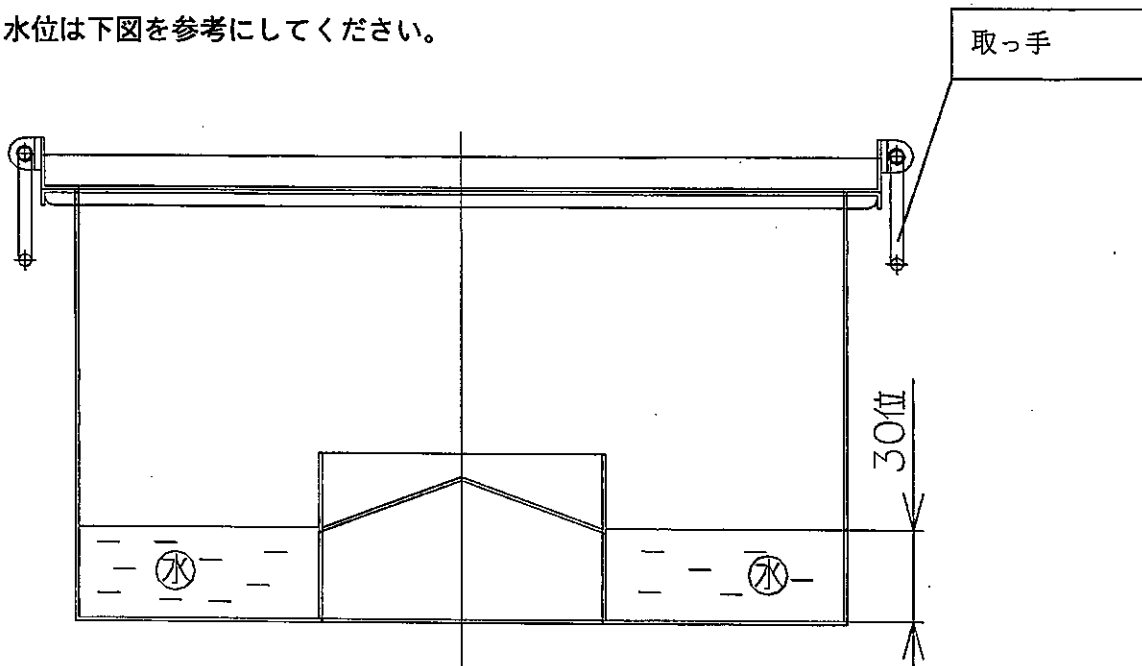
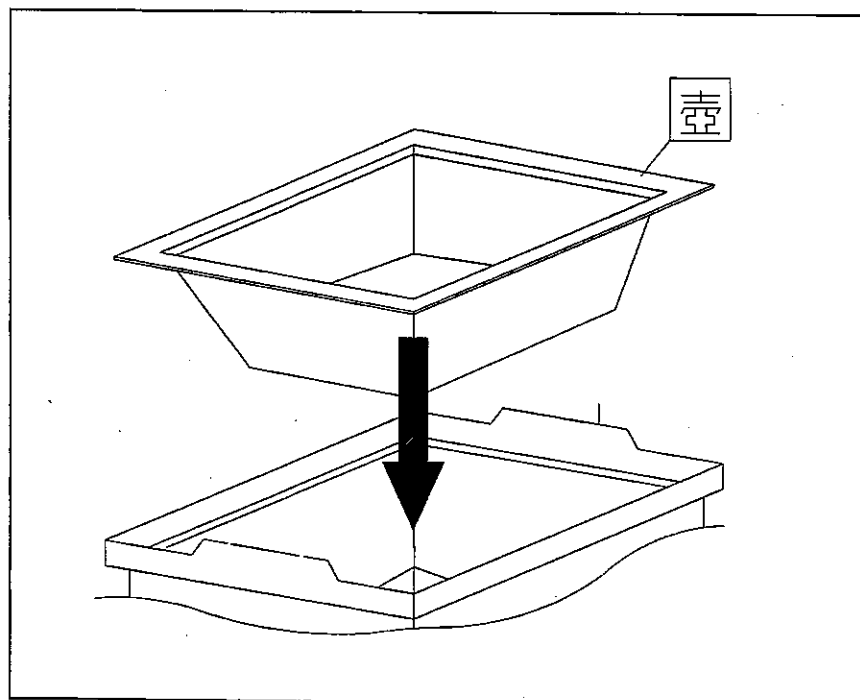
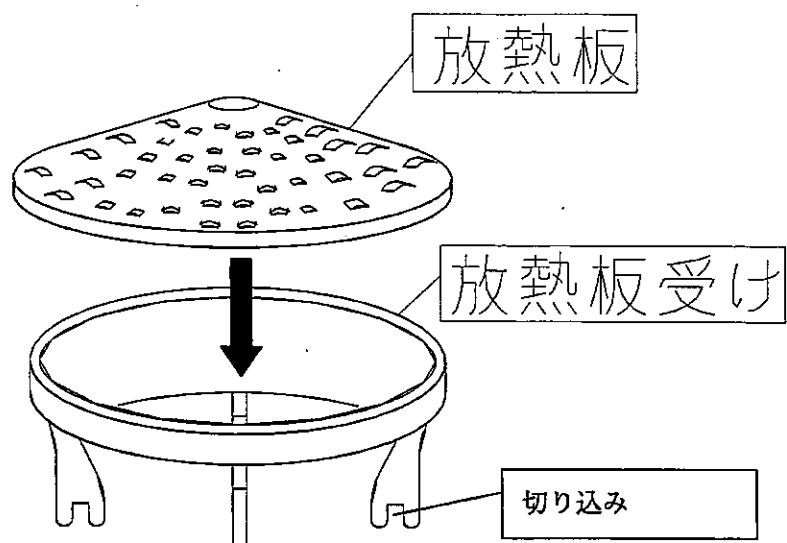
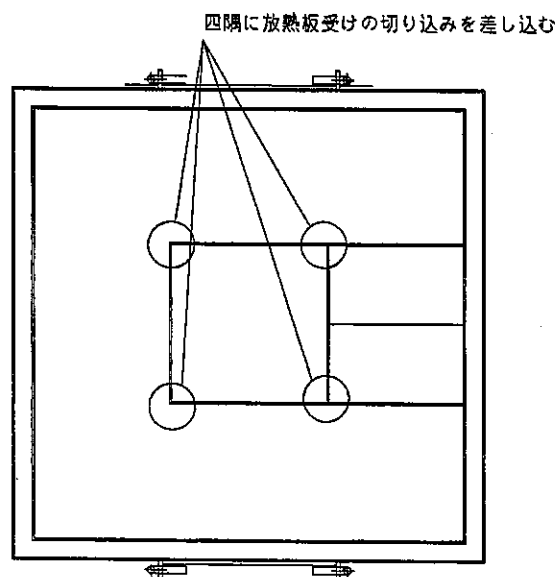
- 使用中および、使用直後は網や水槽、放熱板、放熱板受け、それら周辺部は高温になっているので、持ち運びの際は、落としたり、水をこぼしたりしないように注意すること。
  火傷の原因になります。

- 本体へのガス接続は　専門の業者の方が行ってください。ゴム管または強化ホースを使用してください。接続部のガス漏れがないか必ず確認をしてください。
  ガス漏れをおこしていますと火災・爆発の原因になります。

各部の名前

角網（オプション）
□250
アミグリッパー
（オプション）
放熱板
放熱受け
壷
水槽
バーナー
本体
コック蓋
ツマミ
サーモカップル

日常の準備　（各部の名前は ３ページを参照してください。）

各部品のセット

1．取っ手を持ち、水を入れた「水槽」をセットして下さい。
　水位は下図を参考にしてください。

セットする際は水をこぼさない様に注意してください。
2．「壷」をセットしてください。
方向

4.「放熱板受け」「放熱板」をセットしてください。

※「放熱板受け」の脚（4箇所）が「インナードレン」の4隅にはまるようにセットしてください。

操作方法

点火と 火力調節

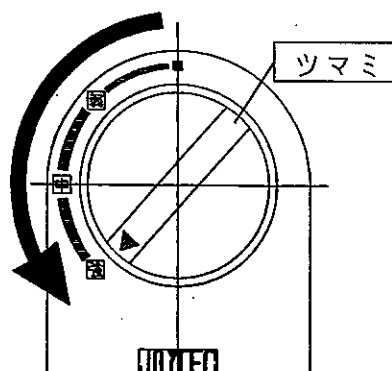
点火前に必ず換気扇を運転して下さい。

不完全燃焼し、一酸化炭素中毒の恐れがあります。

1、コック蓋を開けてください。

2、コックのツマミを押しながら左（「強」の方向）へ
ゆっくり止まるまで回します。
「パチンと音がしてパイロットバーナーに点火します。」

※パイロットバーナーに点火しなかった場合、約5秒ほど待ってから再点火をおこなってください。

※バーナーに点火したことを確認したら約5秒から10秒程ツマミを押さえたままにしてください。サーモカップルが所定温度にたっしたらツマミから手を離してください。
万一、着火しなかった場合サーモカップルが温まっていませんので再点火をおこなってください。

3. 火力調節します。
コックのツマミを右に回して、
「中」「弱」の位置に回します。
※それぞれ合ったときに「カチッ」と音がします。

注意とお願い

・お客様の変わり目などで、網を交換する時、水槽の水の量を確認して下さい。
少なくなっていたら水を追加して下さい。

4、使用中、つまみ汚れ防止のためコック蓋はできるだけ閉じてください。

消 火（ご使用後）

1．ガスコックのツマミが閉の位置（■ 印）になるようツマミを回してください。
※消火した際、消火されていることを確認するためコック蓋を開けておく事をお奨めします。

お手入のしかた

1．壷・水槽

・毎日、専用洗剤[オーブンクリーナーFF／D9]（３～５倍希釈）または中性洗剤で洗って下さい。

・乱暴に扱うとホーロー製品はヒビやカケが発生し、水が侵入してサビの発生原因になります。汚れがこびりついた場合は金タワシでこすり洗いをおこなってください。

2．放熱板・放熱板受け

・ 金属ブラシなどで汚れをおとしてください。

・ 汚れは焼ききるとおとしやすくなります。

3、バーナー

・バーナーはずすことができます。

・バーナーの炎孔に詰まりはないか確認して下さい。（毎日）

（バーナーの炎孔に目詰まりがあると炎が片寄って不完全燃焼の原因になります、また安全装置の誤作動の原因となります。）

・汚れは金属ブラシ等で取り除いて下さい。

※ バーナー本体部は鋳物製ですので水洗いをしないで下さい。サビの発生原因になります。

※バーナーが濡れている場合は、完全に乾かしてからセットして下さい。

※セットする際はかならずバーナー下部のピンが受けの穴に入り込んだことを確認してください。

（セットが不十分ですと不完全燃焼、安全装置の誤作動につながります）

4．本体

・外側は中性洗剤等を含ませた布などで拭きあげてください。

・内部は油がたまりやすいので定期的に油を拭きとってください。

※内部をお掃除される際、サーモカップル（安全装置）の位置が動かない様に注意してください。触れた程度では動きませんが、無理な力を加えると動くことがあります。万一動いた場合はバーナーから5mm程の位置くるように修正してください。

本体（サーモカップル・コックは含みません）以外は、消耗品となります。
使用状況及び部品により傷み具合は変わりますので、定期的に交換してください。

仕様

・形　名	G7（角形ガス七輪）
・焼き方	放熱板による輻射熱
・ガス消費量	都市ガス13A　2.9kW LPガス　2.9kW
・ガス接続方法	Φ9.5 ゴムホース、又は強化ホース
・点火方式	圧電点火方式
・水槽水量	1,500 cc　（7割給水時）
・安全装置	立消え安全装置

故障・異常の見分け方と処置方法

故障・異常の状態 ＼ 原因	ガス栓が閉まっている	ガス管内に空気が残っている	サーモカップルの汚れ	バーナーの汚れ	ノズルの詰り	サーモカップルの位置ズレ
点火しない	○	○	○	○	○	○
使用中に立消えした			○	○		○
対処方法	ガス栓を開ける	点火操作を繰り返す	清掃してください	清掃してください	ノズル清掃棒で清掃してください	サーモカップルの位置を調整

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは、まず「故障・異常の見分け方と処置方法」の項に従って　お調べください。

直らないときは、保証書をよく読んでいただき　販売店に修理を依頼してください。

保障期間中に故障したときは　保証書を添えて　修理を依頼してください。

H20-6-22